令和８年10月 文書質問及び回答

１ 質 問 者　中田 豪之助　議員
２ 質問事項　情報セキュリティ対策等について

質問の内容・要旨	回答
最近不正アクセスによるデータ漏えいが相次いで発生して問題になっています。多くは民間企業が対象となっていますが、政府の共通基盤ネットへのサイバー攻撃による情報漏えいや、一部の自治体のデータも流出しており、下川町においても多数の個人情報が保存されていることからその対策は重要と考えます。民間企業と異なりセキュリティにかける予算と人手が潤沢ではない状況ではありますが、幸い本町では令和７年に「下川町情報セキュリティ基本方針」を訓令として定めています。以下この方針の内容についてお伺いします（行政運営に支障を及ぼさない範囲での回答で結構です）。	中田議員の「情報セキュリティ対策等について」のご質問にお答えいたします。
１ 「LGWAN 接続系とインターネット接続系間で通信する場合には無害化通信を実施する」とあります。無害化通信でなりすましメールは防げるのでしょうか。	１ 無害化通信では、なりすましメールを完全に防ぐことはできません。 無害化通信とは、メールなどに添付されている添付ファイルやダウンロードしたデータに悪意のあるデータ（マルウェア、トロイの木馬など）が含まれていないかをチェックし、含まれている場合にはウイルスを除去しダウンロードする仕組みのことです。 本町では、無害化通信を導入しており、添付データのチェックや通信の監視を行っております。 なりすましメールの多くは、URLに誘導する方法であるため、職員一人ひとりが、職場や私物の環境も含め、情報を正しく理解し、安全かつ適切に判断する必要があり、適宜、職員

	に向けて注意喚起をしているところです。
２「情報セキュリティに関し、職員等が遵守すべき事項を定めるとともに、十分な教育及び啓発を行う」とあります。講習、会議などが行われていれば、その実績として内容及び回数はどうなっていますか。また「情報セキュリティ監査及び自己点検を実施する」とありますが、監査及び自己点検の実績等についてはいかがですか。	２ 令和4年 デジタル人材のための基礎研修（e-ラーニング）1回 ・令和4年 CYDER 研修 1回 ・令和6年 情報セキュリティ基礎研修 1回 ・令和6年 個人情報保護委員会 動画研修 1回 ・令和6年 情報セキュリティ基礎研修 1回 ・令和8年 CYDER 研修 1回 情報セキュリティ監査及び自己点検につきましては、「地方公共団体における情報セキュリティ監査に関するガイドライン」により定期的に実施しております。
３「外部サービス(クラウドサービス)を利用する場合には、利用に係る規定を整備し対策を講じる」とあります。このサービスが停止した場合に業務にどのような支障をきたしますか。その場合、支障を回避する方策手作業による事務処理手順など）は定められていますか。	３ 外部サービスが停止した場合における業務への支障についてですが、システム自体が不具合により停止した場合には復旧を待つ必要があります。 システムへの通信環境が停止した場合については、予備回線により接続を行い、サービス復旧を図ります。 これらの手順については、外部サービス利用基準、緊急時対応計画を策定しており、ネットワーク保守業者と連携を取りながら対策を行ってまいります。
４ AIの急速な進歩により不正アクセスの被害が急増しています。政府、デジタル庁の「ガバメントソリューションサービス」（GSS）でさえデータが流出しました。 本町でもしデータ流出が発生した場合はど	４ データ流出が発生した場合の対応についてですが、マルウェアへの感染した場合の想定になりますが、まず外部との不正な通信が発覚した場合、不正な通信を行っている端末の追跡及び通信遮断を実施し、その後、流

のような対応がなされますか。	出したデータの調査分析をいたします。 　個人情報が含まれている場合、被害状況に応じて個別に対応を実施いたします。 　データ流出を未然に防ぐ方法として、定期的に機器のアップデートやウイルススキャン等の対策を行っております。